時短エクセル（第23回）

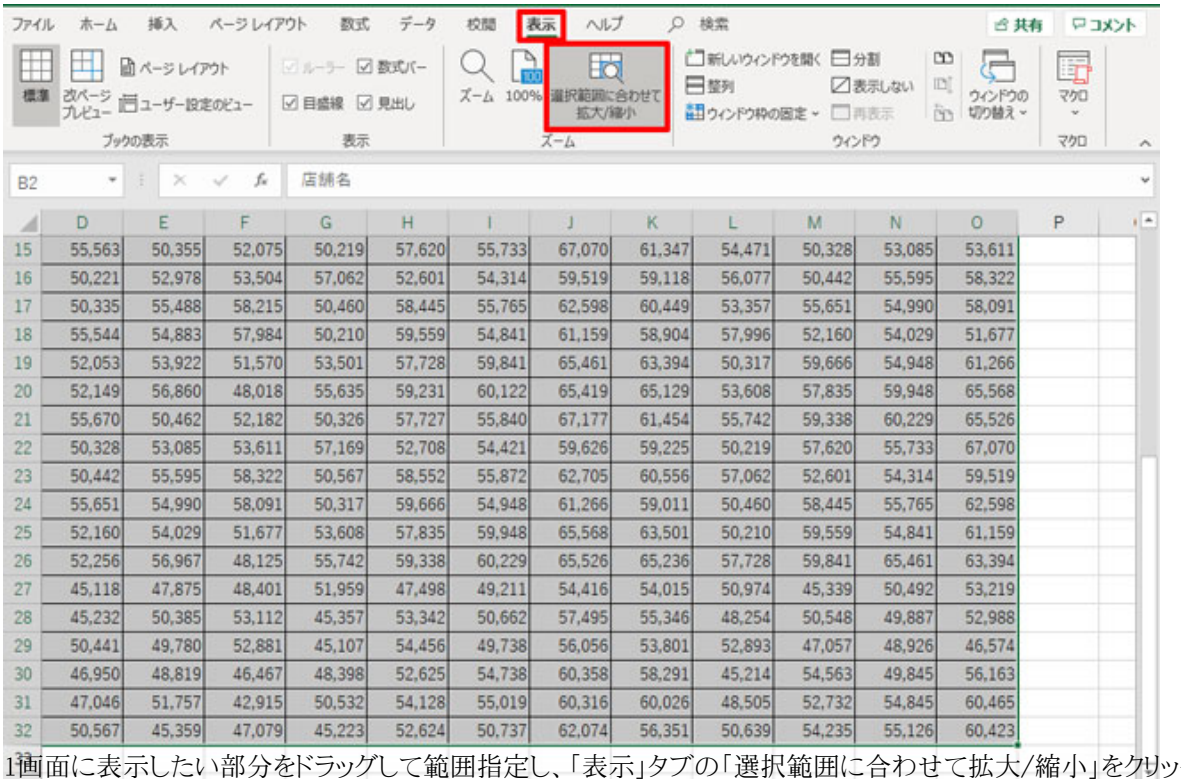
スクロールしても見出しもデータも同時に見るワザ

2019.11.11

大きな表を扱う場合、右端や下端のデータを確認しようとすると、見出しが隠れてしまってどの数値がどの項目のものか確認できないことがある。こんな場合に見出しも同時に見られるテクニックを3つ紹介しよう。

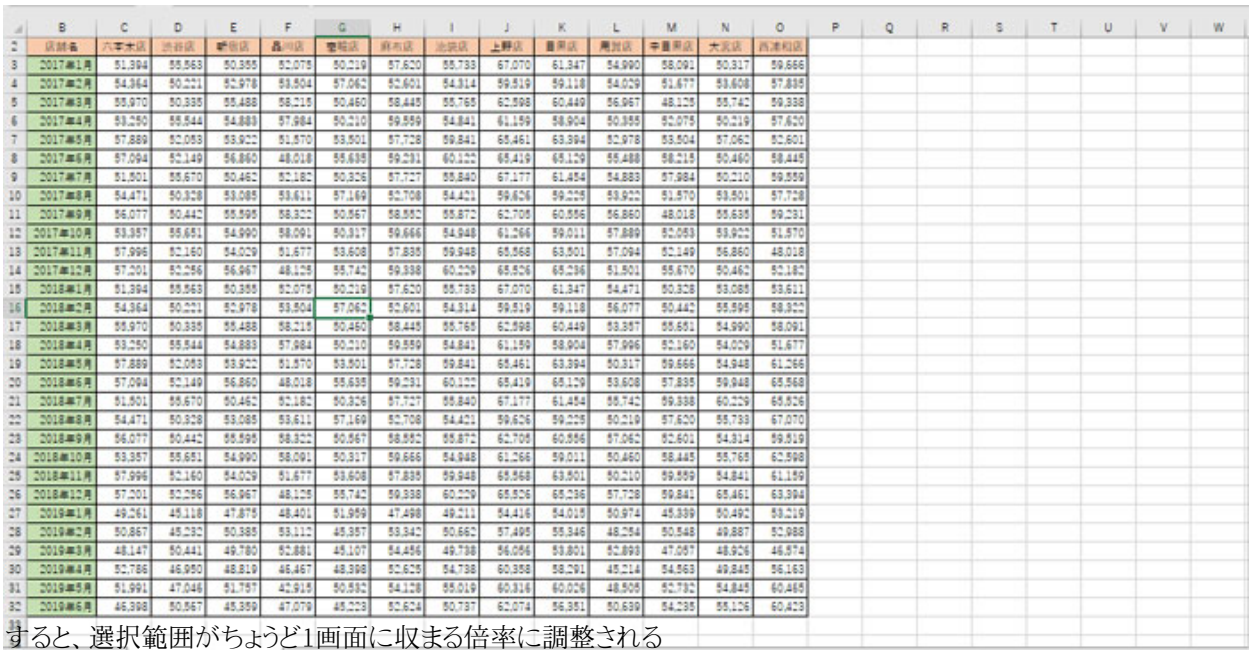
選択範囲に合わせて表を縮小する

まず1つ目が、1画面で少しだけ端が切れてしまう程度の大きさの表の場合。そんなときは画面の表示倍率を下げると全体を確認できる。



	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
15	55,563	50,355	52,075	50,219	57,620	55,733	67,070	61,347	54,471	50,328	53,085	53,611	
16	50,221	52,978	53,504	57,062	52,601	54,314	59,519	59,118	56,077	50,442	55,595	58,322	
17	50,335	55,488	58,215	50,460	58,445	55,765	62,598	60,449	53,357	55,651	54,990	58,091	
18	55,544	54,883	57,984	50,210	59,559	54,841	61,159	58,904	57,996	52,160	54,029	51,677	
19	52,053	53,922	51,570	53,501	57,728	59,841	65,461	63,394	50,317	59,666	54,948	61,266	
20	52,149	56,860	48,018	55,635	59,231	60,122	65,419	65,129	53,608	57,835	59,948	65,568	
21	55,670	50,462	52,182	50,326	57,727	55,840	67,177	61,454	55,742	59,338	60,229	65,526	
22	50,328	53,085	53,611	57,169	52,708	54,421	59,626	59,225	50,219	57,620	55,733	67,070	
23	50,442	55,595	58,322	50,567	58,552	55,872	62,705	60,556	57,062	52,601	54,314	59,519	
24	55,651	54,990	58,091	50,317	59,666	54,948	61,266	59,011	50,460	58,445	55,765	62,598	
25	52,160	54,029	51,677	53,608	57,835	59,948	65,568	63,501	50,210	59,559	54,841	61,159	
26	52,256	56,967	48,125	55,742	59,338	60,229	65,526	65,236	57,728	59,841	65,461	63,394	
27	45,118	47,875	48,401	51,959	47,498	49,211	54,416	54,015	50,974	45,339	50,492	53,219	
28	45,232	50,385	53,112	45,357	53,342	50,662	57,495	55,346	48,254	50,548	49,887	52,988	
29	50,441	49,780	52,881	45,107	54,456	49,738	56,056	53,801	52,893	47,057	48,926	46,574	
30	46,950	48,819	46,467	48,398	52,625	54,738	60,358	58,291	45,214	54,563	49,845	56,163	
31	47,046	51,757	42,915	50,532	54,128	55,019	60,316	60,026	48,505	52,732	54,845	60,465	
32	50,567	45,359	47,079	45,223	52,624	50,737	62,074	56,351	50,639	54,235	55,126	60,423	

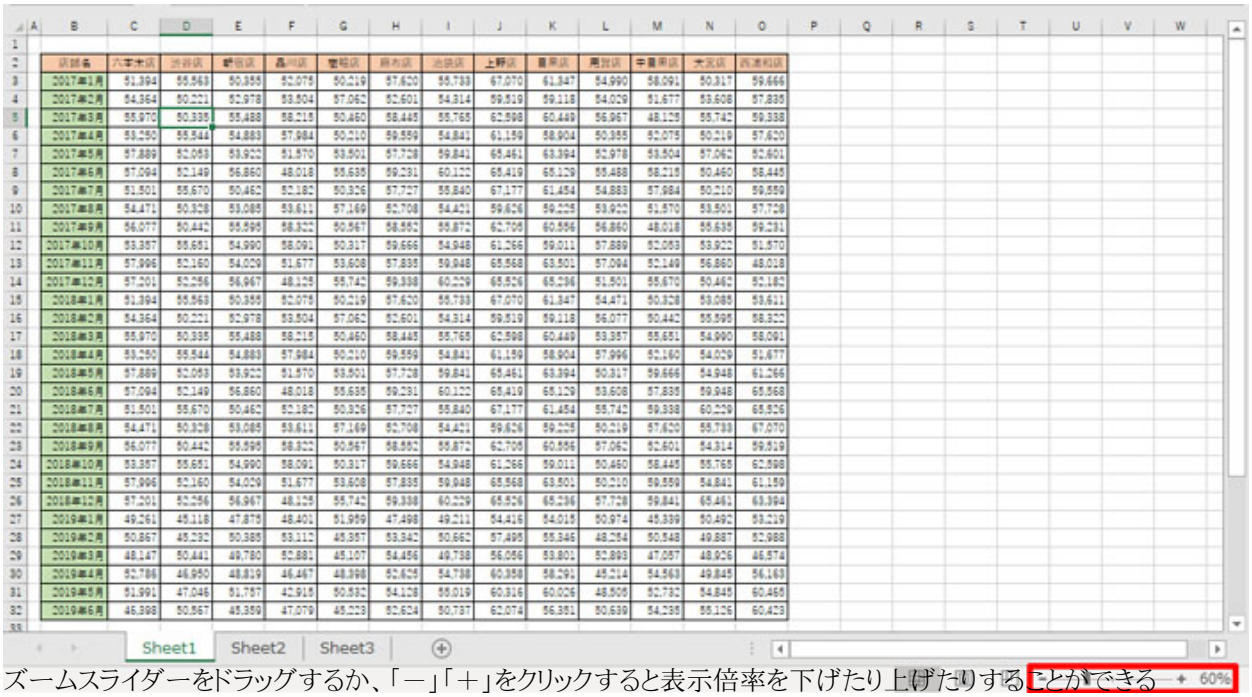
1画面に表示したい部分をドラッグして範囲指定し、「表示」タブの「選択範囲に合わせて拡大/縮小」をクリック



すると、選択範囲がちょうど1画面に収まる倍率に調整される

これはもちろん、画面を拡大したいときにも利用できる。表の一部を拡大してじっくり比較したい場合も、その部分だけを選択してこの機能を実行すればその部分にフィットした表示倍率に調整してくれる。

また、画面右下のズームスライダーや「－」「＋」ボタンを使っても、画面の縮小・拡大が可能だ。



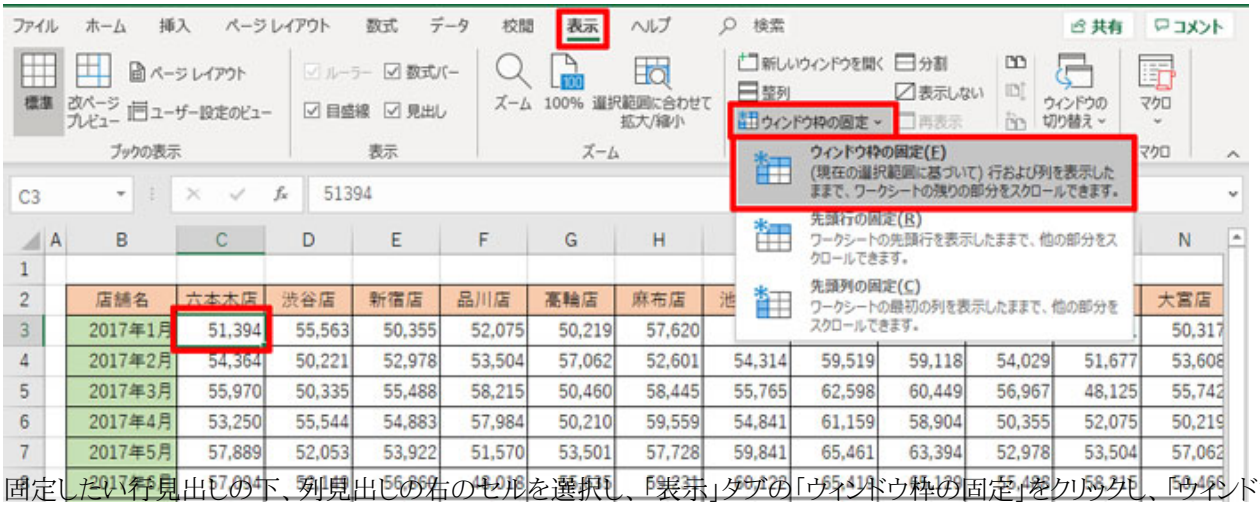
ズームスライダーをドラッグするか、「－」「＋」をクリックすると表示倍率を下げたり上げたりすることができる

ただし、年を重ねていくにつれて、小さい文字は見づらくなっていく。そういう場合は別の手段を試してみよう。

「ウィンドウ枠の固定」機能を使う

表が小さいと見づらいという人は、「ウィンドウ枠の固定」という機能を使おう。この機能を使うと、見出し部分を固定したまま数値の部分だけをスクロールできるようになる。ポイントは、固定したい見出しのある行や列のすぐ下や右のセルを選択する

こと。セルを選択したら、機能を実行する。

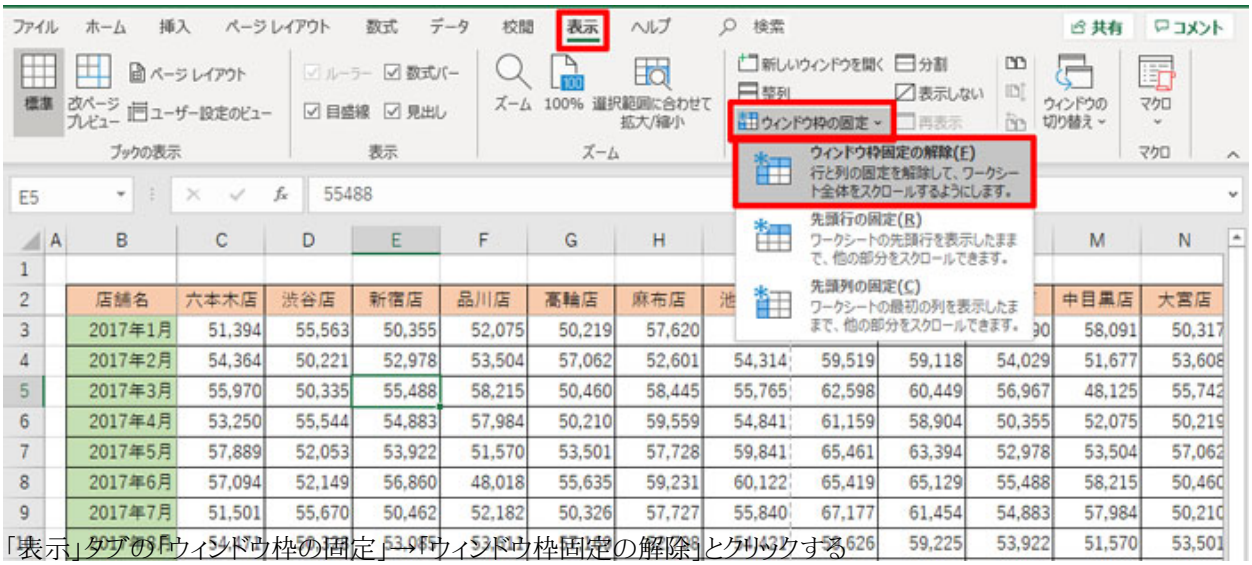


固定したい行見出しの下、列見出しの右のセルを選択し、「表示」タブの「ウィンドウ枠の固定」をクリックし、「ウィンドウ枠の固定」を選択する



スクロールしても、上部や左部の見出しが固定されたまま、下や右のデータを確認することができる

ウィンドウ枠の固定を解除するには、「表示」タブの「ウィンドウ枠の固定」をクリックする。すると「ウィンドウ枠の固定」だったメニューが「ウィンドウ枠固定の解除」に変わっているので、それをクリックすればよい。選択セルは表内のどこにあっても問題ない。



「表示」タブの「ウィンドウ枠の固定」→「ウィンドウ枠固定の解除」とクリックする

ウィンドウを分割して確認する… 続きを読む